

米軍基地環境カルテ

浮原島訓練場（施設番号：FAC6181）

沖 縄 県

改訂履歴

版数	発行年月	改訂内容
第1版	平成29年3月	初版発行
第2版	令和4年3月	「沖縄の米軍基地（平成30年12月沖縄県）」の内容を反映させた改訂。

目次

79. 浮原島訓練場（施設番号：FAC6181）	1
79.1 基本情報	1
79.1.1 名称	1
79.1.2 所在地、広さ（施設面積）	1
79.1.3 施設の概要等	2
79.1.4 施設の管理及び用途	2
79.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況	2
79.1.6 土地利用規制図	2
79.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報	3
79.2.1 基地等の土地の状況	3
79.2.1.1 地形分類図	3
79.2.1.2 表層地質図	3
79.2.1.3 土壌図	3
79.2.1.4 切盛土分布図	3
79.2.2 基地内の施設の使用状況	3
79.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）	3
79.2.2.2 施設等使用履歴	3
79.3 基地等の環境状況	3
79.3.1 自然環境（植物）	3
79.3.1.1 現存植生図	3
79.3.1.2 植生自然度図	4
79.3.1.3 特定植物群落	4
79.3.1.4 重要な種、貴重な種等	4
79.3.2 自然環境（動物）	4
79.3.2.1 重要な種、貴重な種等	4
79.3.3 水利用状況	4
79.3.3.1 水利用状況	4
79.3.3.2 井戸・湧水の分布状況	5
79.3.3.3 河川及びダムの分布状況	6
79.3.4 地下水の状況	6
79.3.4.1 地下水基盤面等高線図	6
79.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等	7
79.4.1 事故等の概要	7
79.4.2 事故等発生場所	7
79.5 環境調査を実施する場合の留意事項	7
79.6 その他情報	7

79.7 環境等に関する通常監視について	7
----------------------------	---

79. 浮原島訓練場（施設番号：FAC6181）

79.1 基本情報

79.1.1 名称

浮原島訓練場（施設番号：FAC6181）

79.1.2 所在地、広さ（施設面積）

<昭和47年5月15日>

所在地：勝連村

広 さ：約311,600 m²

出典：外務省ホームページ「沖縄の施設・区域（5・15メモ等）（仮訳）」（1972年5月）

（http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/sfa/kyoutei/pdfs/02_03.pdf）を参照

<平成30年12月末現在>

所在地：うるま市（勝連比嘉）

広 さ：254 千m²

地主数：111 人（自衛隊施設分に区分）

駐留軍従業員数：－

出典：「沖縄の米軍基地」（平成30年12月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

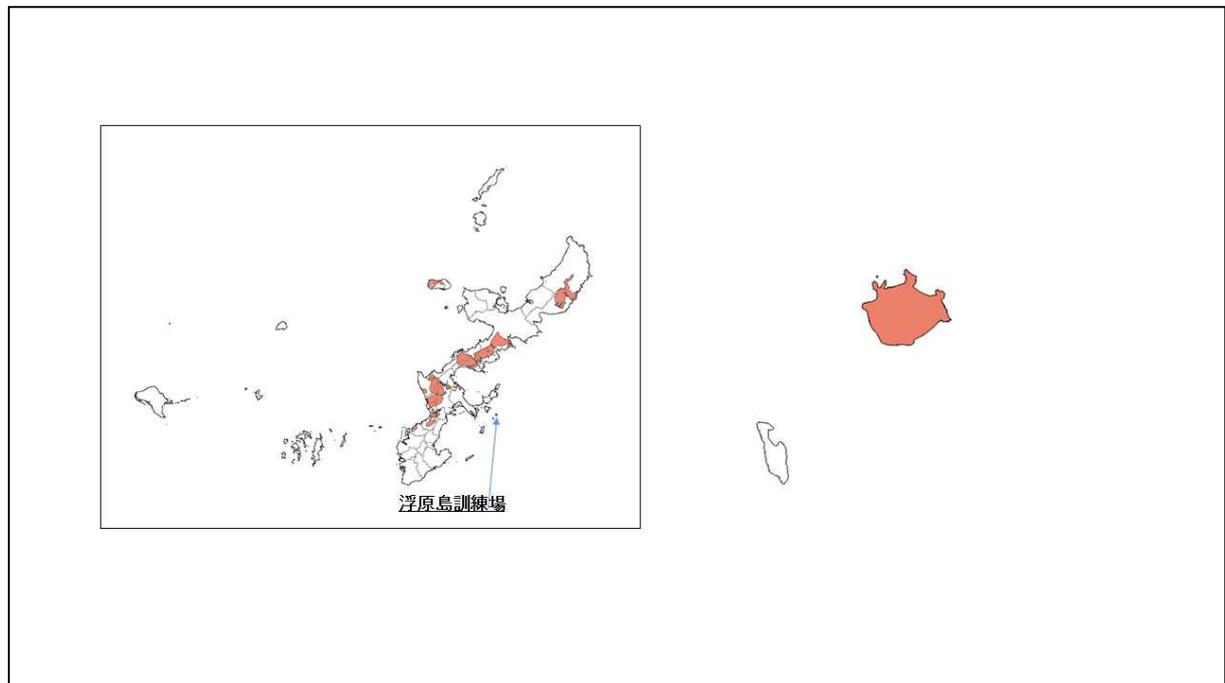


図 79-1 浮原島訓練場の位置図（平成28年時）



出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

図 79-2 浮原島訓練場の航空写真

79.1.3 施設の概要等

浮原島訓練場は、浮原島全体が訓練場となっており、島の中央部から半径 850 メートル以内の円形区域が訓練水域である。

昭和 53 年 5 月 31 日までは一時使用施設（地位協定第 2 条第 4 項（b））として年間 40 日に限り米海兵隊の訓練が行われていたが、訓練が行われない時は釣り場、キャンプ場等のレクリエーション場として利用されていた。

昭和 53 年 6 月 1 日以降は、陸上自衛隊の管理下で陸、海、空の各部隊が常時訓練を行っており、訓練日程等の調整は陸上自衛隊が行っている。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 30 年 12 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

79.1.4 施設の管理及び用途

管理部隊名：陸上自衛隊第 15 旅団

使用部隊名：海兵隊ほか

使用主目的：訓練場

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 30 年 12 月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

79.1.5 施設・区域の返還時期（見込み）、返還後の利用状況

<返還計画>

なし。

<跡地利用計画>

策定されていない。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 30 年 12 月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

79.1.6 土地利用規制図

浮原島訓練場にある浮原島の土地利用規制図を図面集「[土地利用規制図D](#)」に示す。

79.2 基地内の環境汚染の可能性に関する情報

79.2.1 基地等の土地の状況

79.2.1.1 地形分類図

浮原島訓練場にある浮原島の地形分類図を図面集「[地形分類図D](#)」に示す。

79.2.1.2 表層地質図

浮原島訓練場にある浮原島の表層地質図を図面集「[表層地質図D](#)」に示す。

79.2.1.3 土壌図

浮原島訓練場にある浮原島の土壌図を図面集「[土壌図D](#)」に示す。

79.2.1.4 切盛土分布図

浮原島訓練場の切盛土分布図は作成されていない。

79.2.2 基地内の施設の使用状況

79.2.2.1 施設配置図（埋設物含む）

浮原島訓練場の施設配置図は確認できなかった。

79.2.2.2 施設等使用履歴

年月日不詳 本施設は、元来高等弁務官布令第20号に基づく使用形態ではなく、訓練に使用する都度、料金を支払っていたようである。

昭和47年5月15日 「浮原島訓練場」として、地位協定第2条第4項（b）の施設として提供開始（使用主目的：訓練場）。年間40日を限度として使用。

昭和53年6月1日 自衛隊の専用施設となり、陸上自衛隊が施設管理にあたる（米海兵隊は年間120日を越えない範囲で従来通りの一時使用が許される）。

昭和53年10月19日 使用条件変更（年間40日を120日に）。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成30年12月、沖縄県知事公室基地対策課）を参照

<主要建物及び工作物>

建物：－

工作物：－

出典：「沖縄の米軍基地」（平成30年12月、沖縄県知事公室基地対策課）より引用

79.3 基地等の環境状況

79.3.1 自然環境（植物）

79.3.1.1 現存植生図

浮原島訓練場にある浮原島の現存植生図を図面集「[現存植生図D](#)」に示す。

79.3.1.2 植生自然度図

浮原島訓練場にある浮原島の植生自然度図を図面集「[植生自然度図D](#)」に示す。

79.3.1.3 特定植物群落

浮原島訓練場にある浮原島において、特定植物群落の該当はない。

出典：「自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年3月、環境庁自然保護局生物多様性センター）を参照

79.3.1.4 重要な種、貴重な種等

浮原島訓練場にある浮原島の重要な種、貴重な種等（植物）は確認できなかった。

出典：「～平成27年度版～文化財課要覧」（2015、沖縄県教育庁文化財課）を参照

79.3.2 自然環境（動物）

79.3.2.1 重要な種、貴重な種等

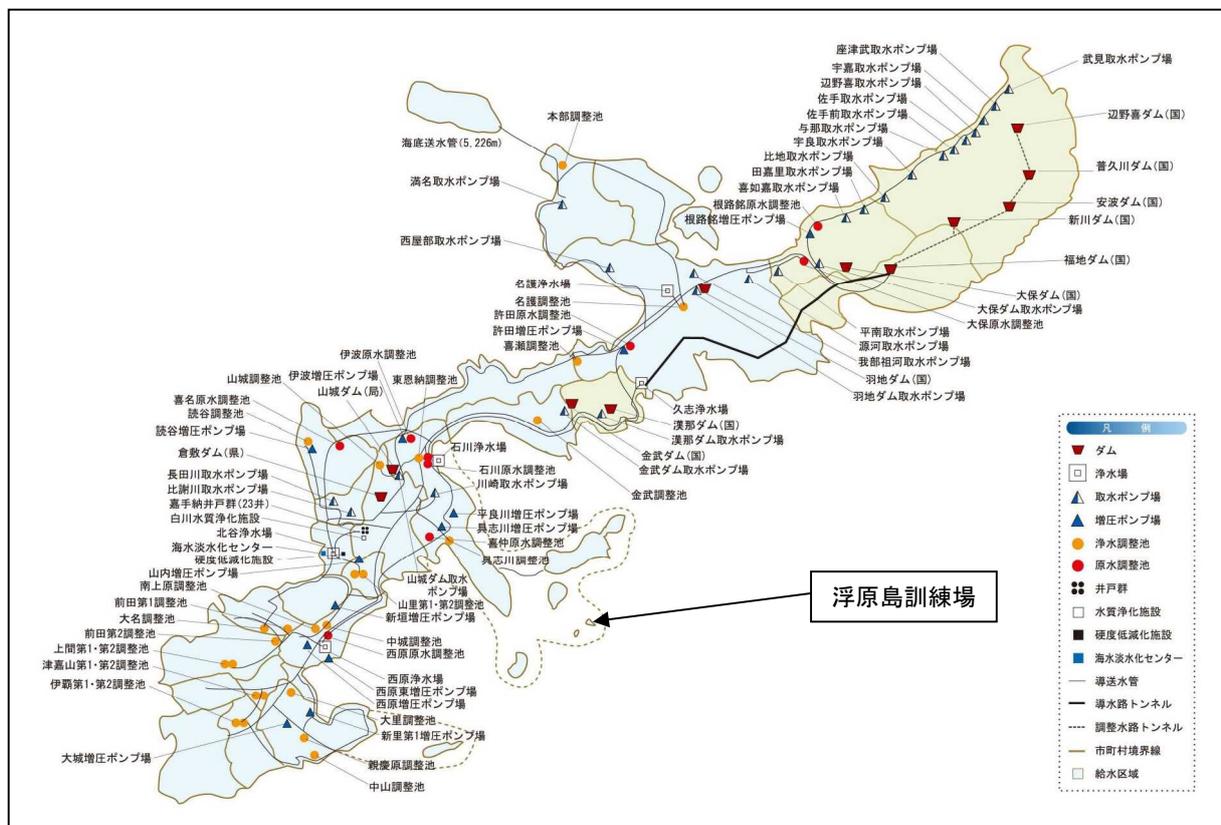
浮原島訓練場のあるうるま市で生息が確認された又は生息が可能或いは推定される、重要な種、貴重な種等（動物）は46種類いる。

出典：「自然環境の保全に関する指針 [沖縄島編]」（平成10年2月、沖縄県環境保健部自然保護課）を参照

79.3.3 水利用状況

79.3.3.1 水利用状況

沖縄県企業局による、沖縄島及び周辺の水利用状況を図 79-3 に示す。

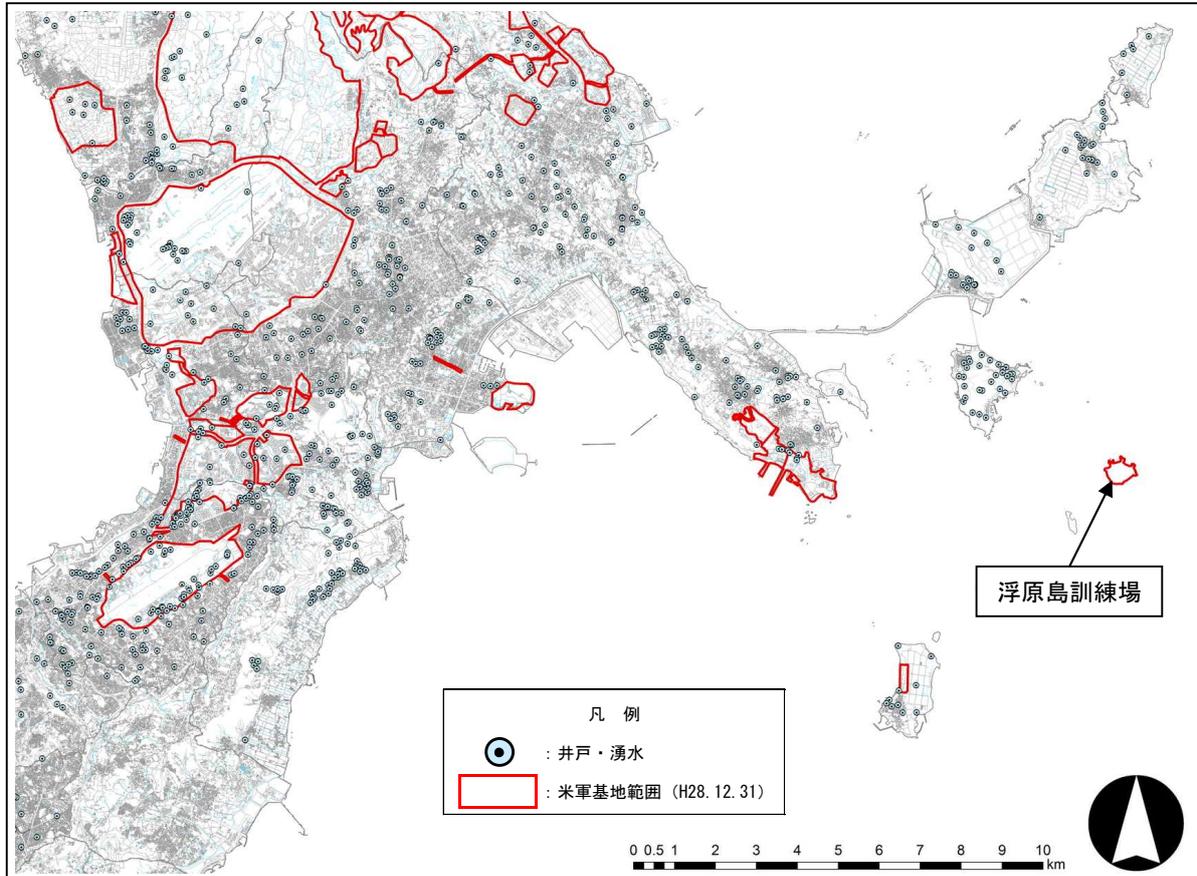


出典：「2015<平成26年度決算版> 環境報告書」（平成28年3月、沖縄県企業局配水管理課）を参照

図 79-3 沖縄島及び周辺の水利用状況

79.3.3.2 井戸・湧水の分布状況

浮原島訓練場及び周辺の井戸・湧水分布状況を図 79-4 に示す。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平成 29 情使、第 269 号）」

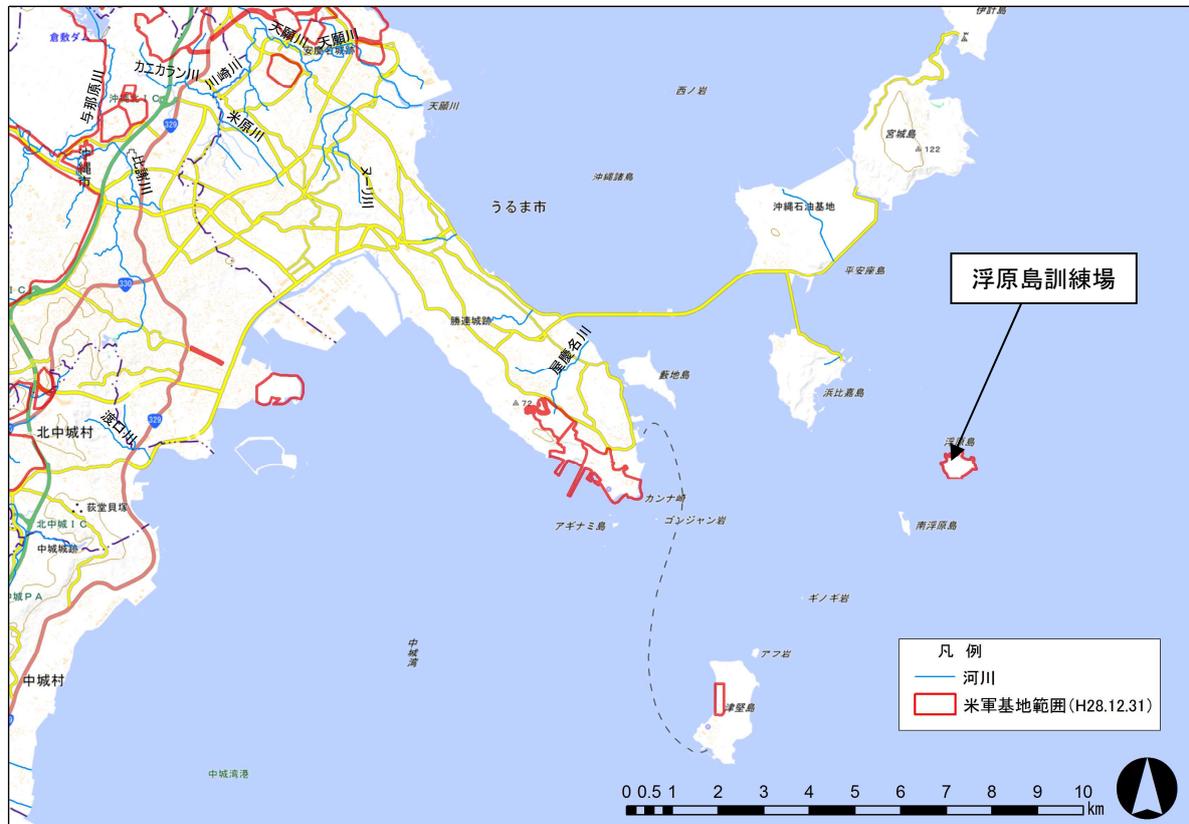
注：本図には、史書等より情報を得た井戸・湧水の位置も示されていることから、その存在や状態については、活用者が確認する必要がある。

出典：別途記載

図 79-4 浮原島訓練場及び周辺の井戸・湧水分布状況

79.3.3.3 河川及びダムの分布状況

浮原島訓練場及び周辺の河川、ダム分布状況を図 79-5 に示す。浮原島訓練場及び周辺に、二級河川、準用河川、国・県管理ダムはない。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平成 29 情複、第 301 号）」
出典：「国土地理院地図（平成29年 3 月）」、「国土数値情報のデータ（河川情報）」、
「沖縄防衛局管内防衛施設図（米軍基地範囲）」（平成28年12月31日現在、沖縄防衛局）を参照
図 79-5 浮原島訓練場及び周辺の河川、ダム分布状況

79.3.4 地下水の状況

79.3.4.1 地下水基盤面等高線図

浮原島訓練場にある浮原島の地下水基盤面等高線図は作成されていない。

79.4 当該施設及び周辺における環境関連事故等

79.4.1 事故等の概要

浮原島訓練場及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等の概要を表 79-1 に示す。浮原島訓練場では、信号弾による原野火災が起きたほかは、近年、同施設に係る重大な事故は確認されていない。

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 25 年 3 月、沖縄県知事公室基地対策課）参照

表 79-1 浮原島訓練場及び周辺における環境関連事故等の概要

発生年月日	発生場所	概要	備考
平成 11 年 1 月 26 日	勝連町	浮原島訓練場で火災が発生。焼失面積は、約 25,000 m ² 。信号弾により発火。なお、同訓練場での火災は復帰後はじめて。	原野火災

出典：「沖縄の米軍基地」（平成 15 年 3 月、沖縄県基地対策室）を参照

79.4.2 事故等発生場所

浮原島訓練場及び周辺における米軍の活動に起因する環境関連事故等発生場所の情報は確認できなかった。

79.5 環境調査を実施する場合の留意事項

浮原島訓練場において、基地内施設の使用状況及び配置等の基礎的な情報が詳細に把握できていないことから、当該施設の使用状況を踏まえて、環境調査の際には下記の事項に留意する。

- 1 演習場として使用されているため、実施された訓練の内容や使用弾薬等の情報を正確に把握し、調査計画立案に反映させる必要がある。
- 2 演習場内には不発弾の存在が懸念されることから、環境調査を実施する前に安全性を確認する必要がある。

79.6 その他情報

特になし。

79.7 環境等に関する通常監視について

浮原島訓練場及び周辺において、沖縄県による環境等に関する通常監視は行われていない。

出典：「昭和 51 年度版 環境白書」（1977、沖縄県）、
「昭和 53～平成 16 年版 環境白書（昭和 52～平成 15 年度年次報告）」（1978～2005、沖縄県）、
「環境白書【平成 16～26 年度報告】」（2006～2016、沖縄県）を参照